

ネイチャーウォッチングだより

令和6年11月20日(水)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

11月17日(日)、Bグループ最後のネイチャーウォッチング「化石を発掘しよう」を開催しました。秋晴れの下、28家族86名の親子の皆さんが化石の発掘に挑戦しました。



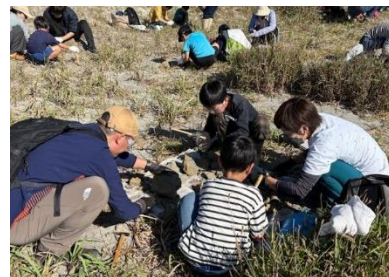
田島先生による化石のお話

会場は、豊橋市の太平洋（遠州灘）に面した伊古部海岸です。この海岸一帯は、波打ち際まで断崖が迫る地形で、この崖からいろいろな化石が発掘されます。

はじめに、講師の日本古生物学会会員・田島広嗣先生から、「なぜ化石がここで発掘できるのか」、「どの時代の化石が出てくるのか」、「どんな化石が産出されるのか」、そして「安全な化石採集の方法と注意点」などを、写真や図を使ってわかりやすく教えていただきました。

続いて、活動場所へ移動し、田島先生が用意してくださった石を、親子で割って化石を探しました。この辺

りの石は比較的柔らかく、簡単に割ることができます。子どもたちだけでなく、大人も夢中になって化石を探しました。1時間ほどの活動でしたが、さまざまな種類や大きさの貝の化石を発掘することができました。現れた化石を、田島先生に見せ、「ここではレアな化石だね。ウニの化石です！」と鑑定していただき、思わず笑顔になる子もいました。発掘した化石を大切に新聞紙やティッシュで包む子どもたちの様子を見て、本事業の目的を達成できたかなと、うれしい気持ちになりました。



親子で協力して化石発掘！



これは何の化石ですか？

終わりの会では、田島先生から参加された家族に1つずつ、マダガスカル産のアンモナイトの化石がプレゼントされました。これには皆さん大喜びで、忘れられない思い出になったことと思います。

最後に、アンケートに寄せられた声をご紹介します。(一部抜粋)



木の葉の化石見つけたよ！

・アンモナイトをもらえてうれしかったです。(子)
・思いのほか、親も夢中になって楽しめました。子どもと同じように自然とふれ合いながら夢中になれる機会はありがたかったです。県内にある博物館で、他の化石も見たいなあと思いました。(父)

・子どもがずっと楽しみにしていました！化石を見つけることができ、喜んでいました。(母)
・初めて発掘体験できて楽しかったです。(子)
・コレクションができてうれしかったです。(子)

・3回とも新しい扉が開いた感じでした。どの回もうちの子は好奇心を満たされ、楽しんでいました。体験する大切さを強く感じました。(父)

・素敵な体験をすることができました。子どもと一緒に楽しめる時間は、かけがえのない貴重な体験になると思うので、これからも継続してください。(母)



「化石を発掘しよう」に参加された皆さん